

	観光による地域への 経済波及額(億円)	一人当たりの観光消費額(円)			市内宿泊客数		観光入込客数(千人)			
		全体	宿泊客	日帰り客	総宿泊客数 (千人)	外国人 宿泊数(人)	全市	善光寺	戸隠	松代
令和5年度目標値	645	12,231	20,686	6,753	1,390	77,181	8,632	5,156	1,329	436
令和5年度実績	736	17,730	29,280	8,601	1,624	192,815	9,244	6,109	1,527	440
令和6年度目標値	807	12,351	20,888	6,819	1,570	103,599	10,706	6,436	1,482	545

	各地域の満足度(%)			
	全市	善光寺	戸隠	松代
基準値 ※3	49.7	46.1	56.4	46.1
令和5年度実績	63.2	60.1	66.0	61.5
令和8年度(最終年目標)	59.7	56.1	66.4	56.1

【各地域における実践プロジェクトの事業実施計画】
（長野市振興計画概要版 10ページ）

A:計画とおりに実施できた
B:部分的に実施できた
C:実施できなかった

地区名	趣旨	R5実施内容	担当課	年次目標値	評価	R5達成状況	R6実施内容	年次目標値
						具体的な成果・残された課題等		
善光寺	善光寺界限と中心市街地の周遊を促進するため、様々な観光関連事業者と連携し、周遊促進コンテンツを開発するとともに、周遊を促す仕組みを構築する。	①まちあるきの「着地型コンテンツ」開発販売 ・ゲーム性のあるまち歩きイベントの開催 →秋を目途に市街地のまち歩きイベントを開催するため、現地調査を実施する。また、定期開催についてを検討する →イベントをPRの機会と位置づけ、並行して裏路地店舗等での「消費」つながるキャンペーン ・やツアー開発に取り組み、商品開発・販売のための事業スキームを構築する。 ・裏路地散策コンテンツのデジタルコミュニケーション活用 →ガイドウォークや割引チケット等の情報を集約、デジタルマップやSNSでの発信を強化し、キャンペーン等によって効果検証・顧客分析を行う →コンテンツ宣伝用のプロモーション動画を活用して、SNSなどで情報発信を行う ・市街地滞在型ツアーの周知・販売 →旅行事業者と連携し、ラグジュアリータクシー等を利用した少人数による、県立美術館や宿坊と連動した高付加価値ツアーの周知・販売	観光振興課 ビューロー 各観光協会	-	B	① ゲーム性のあるまち歩きイベントの開催 ・「善光寺もんぜん探検隊 表参道×路地裏スポット発見ビンゴ」を開催 ■日時:11月3日(金・祝)10:00～16:00 最終受付15:00 ■会場:セントラルスクウェア(ワールドフェスタin長野2023と同時開催) ■参加人数:136人 →イベントとしては概ね成功。ただし食べ歩きチケットの販売は2名のみで、消費効果は限定的。 ② 裏路地散策/インバウンド向け体験コンテンツPR動画作成 ・各種着地型ツアーや市内散策をプロモーションするための動画を制作。 ■内容:着物体験、座禅/護摩焚きなど(現状の善光寺エリアの着地型コンテンツを踏まえ、集客ツールとしての活用が見込める内容とし、主力客層であるインバウンドを意識した) ③市街地滞在型ツアーの周知・販売 →善光寺界限の座禅、写経、護摩焚き体験商品をインバウンド向けにブラッシュアップを行った。 →旅行事業者と連携し、ラグジュアリータクシー等を利用した少人数による、県立美術館や宿坊と連動した高付加価値ツアーの周知・販売・HP多言語化を行い、ターゲットの拡大を図った。	① まち歩きイベントを通じたまちなか消費拡大 ・例年秋の開催を継続。次回は食べ歩きチケットを組み込んだ企画とし、県立美術館との連携も視野に、市街地の消費の拡大につながるよう企画を改善していく。 ・R5で行った学生連携も継続し、若者の巻き込みやその視点の企画への取り入れも積極的に行う。 ② 着地型コンテンツの販売促進による消費拡大 ・コンベンションビューローによる宣伝・セールス活動(旅行博など)に活用する。 ・着地型コンテンツ販売事業者とコンタクトをとり、動画の活用・拡散を促し、顧客獲得を後押しすることに加え、消費拡大のための新商品開発を支援する。 ③ 夜の楽しみ等のオプション提案による店舗・施設の消費拡大 →ナイトミュージアム、ナイトツアーなど夜の町歩きツアーを検討(旅行代理店と連携したオプションツアーとして／旅行代理店などとの連携も模索する)	-
戸隠・飯綱高原	戸隠を持続的で長期滞在に適した観光地にするため、長期滞在を可能にする仕組み(分散型宿泊、連泊プラン、ワーケーション等)を構築するとともに、観光資源を活かしたコンテンツ開発でファンを増やし、リピーター確保につなげる。飯綱高原のアウトドアコンテンツ開発を中心に進めるとともに、戸隠や他地域への周遊を促進する。	①地域資源活用の滞在型コンテンツ造成 ・長期滞在プランの開発・販売 →戸隠、飯綱の宿泊施設とともに、施設間の連携や、地元の暮らしの体験コンテンツ(バードウォッチング、茅刈り体験など)との連携を通じ、長期滞在プランとしての開発・販売を行う ②Eバイクを軸とした広域周遊・消費拡大 ・Eバイク運動型の宿泊プランの開発・販売 ・戸隠-飯綱間の広域エリアを対象として、ガイドによる体験コンテンツ(Eバイクツアーやその関連で提供できるアウトドア体験など)の開発・販売	観光振興課 ビューロー 各観光協会	-	A	① 地域資源活用の滞在型コンテンツ造成 ・飯綱の森スノーウォークのモニターツアーの実施 ■日時:1月20日(土)27日(土) ■参加人数:計28人(旅行会社7人、インフルエンサー3人、一般18人) →旅行会社からは好評で商品化に期待。中核となる森の駅でも自走化の見込あり。和かんじ講師の調整や料金面での課題あり。 ・雪上ナイトクルージング ■日時:3月9日(土) ■参加人数:計12人(大人12人) →募集期間が短いにもかかわらず、予約はすぐに埋まった。戸隠においては、地域を何度も訪れたことのあるファンが多く、リピーターをターゲットにした情報発信が効果的である。ツアーについては、対応にあたるスタッフ人数の確保が課題。 ② Eバイク&釣り体験ツアーの造成による広域周遊・消費拡大 ・Eバイク&釣り体験モニターツアーの実施 ■日時:8月26・27日(土・日)1泊2日 ■参加人数:9名(大人7名・小人2名) →一般参加者が少なかったため、モニターツアーも併用して開催。概ね好評でR4年度に整備した自転車道が活用でき、釣り竿なども今後に活かせる。料金設定、雨天時の移動など検討課題あり。	① 宿泊客の滞在を伸ばすための体験コンテンツの充実・情報発信 ・キャンプやスキーなどで一定期間宿泊する顧客をメインターゲットとして、滞在中の体験コンテンツの充実・情報発信強化に取り組み、滞在時間の延長を図る。 ・R5年度に開発した体験コンテンツの集約を行いや、キャンプ・スキー客に届くチャネルでの発信に取り組むとともに、旅行会社等によるツアー及び宿泊連泊プランの販売を働きかける。 ② 環境配慮型の観光地づくりの推進 ・妙高戸隠連山国立公園協議会等との連携を図りつつ、エコツアーの開発を検討するとともに、戸隠をサステナブルツーリズム／環境配慮型観光地として来訪者へのメッセージの発信やルール・マナーの啓発等を行う。 ・宿泊施設等のゼロエミッション／環境配慮の取組みの集約は戸隠・飯綱としてのプロモーションと連携した情報発信を行う。	-
松代	松代荘などに宿泊する観光客がまちを周遊し、滞在時間を延ばすこと(買い物や食事)で、地域における観光消費につなげる。	①Eバイクツアーと連動した宿泊プランの開発・販売 ・松代荘とEバイクツアーの連動宿泊パッケージを造成し、宣伝媒体や旅行代理店の活用等でプロモーションを実施して販売につなげていく ②文化財を活用した飲食等コンテンツの開発・販売 ・R4の成果をもとに、より高頻度・高単価な商品コンテンツの開発・販売を行う(飲食店連携、定期イベント化の検討、真田邸以外の文化財活用の検討など)	観光振興課 ビューロー 各観光協会	-	B	① Eバイクツアーと連動した宿泊プランの開発・販売 ・里山ツアー、体験ツアー、川中島合戦ツアーの3種類で宿泊連動パッケージを造成、新聞・SNS広告・宿泊施設HP等で宣伝したが、参加者を獲得できず。 →宣伝の問題(タイミングが遅かった、媒体選び等)と、商品内容の問題(中高年の多い松代ファンにEバイクニーズがない、ガイド予約なしで楽しめるものも必要、等)の両面で改善を目指す。 ② 真田邸を活用した飲食バスツアーの開発・販売 ■日時:10月26日(木)・27日(金)28日(土)、29日(日)は応募者が不足し未開催) ■参加人数:26日13人、27日9人 ・顧客の多くは県内容、50～70代の中高年の真田ファンで、そのニーズを捉えており、特別感の演出、住職の説明やガイド内容などでは概ね高い満足が得られた。 →事前の連携に不十分な点があったこと、詰め込みすぎなどの意見、お土産や食事内容でもっと松代らしさを堪能したかったという意見等に対応し、改善していく。	① ターゲットを絞ったEバイクコンテンツの磨き上げ ・顧客層を絞り、そのニーズに合致したEバイクコンテンツを企画する(インバウンド客も想定)。ガイドや宿泊を必須とせず、Eバイクを使って松代町内を周遊できるよう、マップの作成、電子化、無料配布などを検討し、顧客に喜ばれる内容をゼロベースで考える。 ② 文化財を活用した飲食等コンテンツの開発・販売 ・既存層(県内の中高年の歴史ファン)へは引き続きコンテンツを磨き上げつつ継続販売。 ・新規層として、県外やインバウンド向けなどの顧客開拓にも挑戦する。 ※R5年の課題を解消し、ガイド水準の担保、松代の食材や料理とのコラボなどでより価値を高める。 ・宣伝はターゲットに合わせた適切な媒体を用い、充分が時間がとれるよう早めに行う。 ③ その他のコンテンツ開発(検討し、随時進めていく) ・アンズ、ぶどう、長芋、伝統野菜の松代一本ねぎなどの地域産品を用いたメニューの考案 ・駐車場を起点とした最短コース、中距離コース、じっくり楽しむコースなどの周遊ルートの設定 ・松代文化財ボランティアの会や体験受入可能な団体などとの連携による団体客の受入	-
中山間	中山間地域にある様々な地域資源を磨き上げ、それらを線で結び、観光客が中山間地域を周遊する仕組みを作る。	①中山間地の高単価宿泊プランの開発・販売 ・先行して鬼無里地区で、フットパスやEバイク、農業体験等による高単価の宿泊プランの開発・販売を行う。 →他の地区でも今後の高単価宿泊プランの可能性を模索する。 →市有施設(さざり荘、鬼無里の湯、やきもち家など宿泊施設)と連携を図り、ツアーや宿泊プランを開発を行いPRを行っていく。 ・ワインツーリズムについての先進地事例の調査・研究を進める	観光振興課 ビューロー 各観光協会	-	B	① 中山間地の滞在中コンテンツの開発 ・宿泊プランの素材となる商品造成のため、溪流釣りを観光資源としたコンテンツの造成に取り組み、次年度より販売できる準備を進めた。 ・鬼無里観光振興会とタクシー事業者との連携により、インバウンド客を対象とした白馬からのツアー化を検討。FAMツアー時の海外旅行事業者との意見交換会に参加。 ② ワインツーリズムの研究 ・長野県地域振興局の「長野地域におけるワインツーリズム検討会」に出席し、近隣の先進事例の情報収集。次年度以降、中山間地でのワイナリー見学ツアーの企画を検討。	① 溪流釣りをテーマとした消費・滞在の拡大 ・鬼無里、戸隠をフィールドとした「溪流釣り(テンカラ釣り)」をツアーとして実施する。 →鬼無里観光振興会や裾花川漁協を中心に、地元の企業等と連携しながら、釣りをメインコンテンツとしたツアーを造成し、販売する。 →鬼無里地区で先行して実施し、戸隠地区や他の中山間地へも横展開を図っていく。 →将来的に宿泊と結びつけた商品になるかどうか検討を行う。 ② ワインツーリズム ・令和6年度に篠ノ井有旅で稼働予定の「長野市第1号ワイナリー」を見学するツアーを開発する。 →普段見る事が出来ない、仕込み前の「ワイナリー」の見学と、収穫体験等を組み合わせたツアーを造成し、新たな「ながのファン」の獲得を目指す。	-

【重点政策における主な取組内容の実施計画】
(長野市振興計画概要版 7ページから9ページ)

A:計画とおりに実施できた
B:部分的に実施できた
C:実施できなかった

政策			施策	実施事業	追加	R5実施内容	対象地域			担当課	年次目標値	評価	R5年度の達成状況 具体的な成果・残された課題等	新規	R6実施内容	年次目標値
							東信支	松代	戸隠							
政策 1 地域資源を最大限活かした誘客	1-1地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進	(1)	地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援	①歴史、伝統、文化、自然を生かしたコンテンツ開発		・文化財を活用した散策コンテンツの開発 【松代地区】松代荘、ロイヤルホテル等とEバイクツアーの運動宿泊パッケージを造成し、宣伝媒体や旅行代理店の活用等でプロモーションを強化していく。 【戸隠地区】宿坊体験とともにコロナ前に行っていた早朝お掃除体験（神官体験）も組み入れ、着地型旅行商品を造成する。	○			観光振興課 NCVB 各観光協会 文化財課	各地区 1コンテンツ 以上開発	B	・文化財を活用した散策コンテンツの開発 【松代地区】9月から11月までの期間において、文化財を巡り陶芸体験を組み込んだEバイクツアーを、3コースに造成した。同ツアーはロイヤルホテル長野との連携を得て、宿泊プランとして販売した。さらに、ツアーの魅力を広く発信するために、ロイヤルホテル長野と信州松代観光協会の公式ホームページでの宣伝や、SNS広告を展開し、PRに努めたが、予約獲得に至らず、宣伝媒体や商品内容、料金設定等に課題が残された。 【戸隠地区】お掃除体験としては実施できなかった。宿坊を絡めた、モニターツアーを2回実施した。		・文化財を活用した散策コンテンツの開発 【松代地区】R5年度の事業見直しとして、低料金でEバイクを活用し、町内の文化財や景勝地を巡る特別なコースを検討する。ガイドなしでEバイクを使って松代町内を周遊できるよう、マップやスマートフォンを通じて簡単に閲覧でき、利用者が手軽に楽しめる仕組みを構築する。これにより、Eバイクの利用を促進し、地域の観光や文化活動の活性化に寄与することを目指す。 【戸隠】通訳ガイドや新たなガイドも増えている為、基本的な5社巡りや希望に沿ったプランのガイ稼働率を増やしていく。	各地区 1コンテンツ 以上開発
						・文化財施設における伝統文化体験ツアーの造成・販売 【善光寺地区】R4年度、旅行代理店主体のツアー商品造成に協力、モニターツアーを開催した。引き続き、地元旅行会社と連携してツアーの磨き上げと販売を行う。 【松代地区】引き続き、地元旅行会社と連携して発地型のインバウンド向け伝統文化体験ツアーの磨き上げと販売を行う。 【戸隠地区】R4年度、ファミトリップを2泊3日の旅行商品として販売した。引き続き旅行会社と連携してツアーの磨き上げと販売を行う。	○			観光振興課 NCVB 各観光協会		A	【善光寺地区】令和4年度に開発した旅行会社主体のツアー商品を新たにインバウンド用にブラッシュアップし、善光寺宿坊住職など地域人材とつながる体験コンテンツ（精進料理・ウォーキング・酒蔵巡り等）として造成した。 【松代地区】観光庁の補助金を活用し、地元の旅行会社の（株）まちなべイトとの連携を図り、文武学校で古武道体験や甲冑体験などの伝統文化が体験できる、インバウンド向けのツアーを3コース造成し販売した。9月～2月にかけて16ツアーを実施し87名の参加があった。その他のインバウンド旅行会社からも、伝統文化を体験するコースの予約が入ってきている。 また、10月には、真田家ゆかりの御霊屋を巡るバスツアーを町内の旅行会社とともに造成・販売した。太鼓門2階や松代藩鐘楼への入場、真田邸での昼食など、普段は体験できないことを盛り込んだ内容となっており、文化財の魅力を活かしたツアーとなった。ツアーは、2ツアーで22名の参加者があった。 【戸隠地区】旬ウォークを計4回実施。グリーンシーズン、ウィンターシーズンにおいて自然体験コンテンツのツアー実施を行った。		【善光寺地区】引き続き、地元旅行会社と連携して体験コンテンツを軸としたツアーの磨き上げと販売を行う。 【松代地区】R5年度において、ようやく松代町へのインバウンド誘客の動きが活発化してきたことから、引き続き、地元の旅行会社である「（株）まちなべイト」と連携を強化し、文武学校での古武道や甲冑の体験など、伝統文化を楽しむことができる3つのインバウンド向けツアーコースを提供する。同時に、ツアー参加者に対して積極的にSNSでの情報発信を呼びかけ、松代の魅力を広く発信する取り組みを行う。さらに、琴や投扇興などの新たな伝統文化体験の受入れ体制を整備し、ツアーコースを拡充して一層の誘客を目指す。 また、真田家ゆかりの御霊屋を巡るバスツアーも、町内の旅行会社と協力して開催し、R5年度の経験を踏まえて価格やツアーコースを見直し、誘客促進に努める。 【戸隠地区】継続していくことで、リピーター層を獲得する。	
						・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討 【松代地区】松代荘、ロイヤルホテル等とEバイクツアーの運動宿泊パッケージを造成し、宣伝媒体や旅行代理店の活用等でプロモーションを強化していく。 【戸隠地区】戸隠・飯綱高原観光協会、アンビーバ、アルカディアとEバイクツアーの運動宿泊パッケージを造成し、宣伝媒体や旅行代理店の活用でプロモーションを強化していく。 【鬼無里地区】地域資源を活用したE-BIKEサイクルイベントを開催する。	○			観光振興課 NCVB 各観光協会		B	・川中島古戦場史跡公園を拠点として、川中島の戦いにゆかりのある地をめぐるEバイクコースを設定し、川中島古戦場特設サイトに掲載した。 【松代地区】9月から11月までの期間において、文化財を巡る陶芸体験を組み込んだEバイクツアーを、3コースに造成した。同ツアーはロイヤルホテル長野との連携を得て、宿泊プランとして販売した。さらに、ツアーの魅力を広く発信するために、ロイヤルホテル長野と信州松代観光協会の公式ホームページでの宣伝や、SNS広告を展開し、PRに努めた。 【戸隠地区】戸隠・飯綱高原への誘客の一環として、過去に行っていない溪流釣り体験を既存コンテンツに+αした特別ツアーの実施を行った。子供連れのファミリー層が参加し、戸隠の食文化・Eバイク体験・自然体験ができ、飯綱高原戸隠とそれぞれに宿泊ができ1回のツアーで広域的な効果が得られた。 【鬼無里地区】 ・鬼無里の湯にE-BIKEを配置しレンタサイクル拠点を増やした。合わせてE-BIKEの利用を組み込んだ宿泊プランの開発・販売を依頼した。 ・地区内資源を活用し（史跡・神社仏閣を巡る）サイクルイベントを企画・募集したが参加者が集まらず催行中止となった。		・川中島古戦場史跡公園を拠点として、Eバイクの利用が増加するように、特設サイト以外でもPRを行い、市内の周遊を促進する。 【松代地区】Eバイクの利用促進を図るため、R5年度の事業見直しとして、低料金でEバイクを活用し、町内の文化財や景勝地を巡る特別なコースを検討する。ガイドなしでマップやスマートフォンを通じて簡単に閲覧でき、利用者が手軽に楽しめる仕組みを構築する。これにより、Eバイクの利用を促進し、地域の観光や文化活動の活性化に寄与することを目指す。 また、Eバイクは手軽に遠隔地まで足を延ばせることから、食など魅力的なコンテンツがある近隣の観光地と連携した周遊コースを検討する。 【戸隠地区】特にEバイクを活用した、飯綱高原との広域的なツアーを行う。 【鬼無里地区】 ・鬼無里に湯に配置したE-BIKEのレンタルに合わせ、連携して宿泊プランの開発・販売を行う。 ・引き続き、地域資源を生かしたサイクルツアーの企画・実施をするとともに、他の周遊イベントと組み合わせE-BIKEを利用促進を図る。 ・近隣地域の関係団体と協力し、E-BIKEを利用した広域的なサイクルイベントを企画・実施する。	
						・文化財施設における伝統文化体験のメニューの整理・販売体制の見直し エコー・ド・まつしろ倶楽部が提供する伝統文化体験をブラッシュアップしてより魅力ある体験にし、松代荘、ロイヤルホテル長野との連携を図り、伝統文化体験を取り入れた宿泊プランの販売を行う。	○			観光振興課 NCVB 信州松代観光協会		A	エコー・ド・まつしろ倶楽部が提供する伝統文化体験を整理し、それをもとにインバウンド向けコンテンツの価格設定を行った。同時に、インバウンド旅行会社向けの体験会の開催や、旅行会社からの体験申し込みにスムーズに対応できるよう、受け入れ体制の強化を図った。さらに、松代焼を体験できる宿泊プランについては、ロイヤルホテル長野との連携を強化し、それをもとにツアーを企画し販売した。		インバウンドの誘客を一層図るため、エコー・ド・まつしろ倶楽部が提供する伝統文化体験を、ブラッシュアップするとともに、旅行会社からのツアー依頼に対応できる受入体制を一層整備する。また、インバウンドの旅行会社向けに体験会などを行い、ツアーの伝統文化体験のバリエーションを増やす。	
						・大室古墳を活用した誘客の検討 コースに入れるだけではなく、ガイドによる案内や参加したくなるような仕掛けの企画、プロモーションの強化を検討する。	○			観光振興課 文化財課 信州松代観光協会		B	大室古墳へのアクセスが道路の狭さや遠隔地の特性を持つため、これに対応する手段としてEバイクの利用が最適と判断し、Eバイクツアーコースに大室古墳を組み込んだ。このツアーは、ガイドが同行する形態となっており、参加者が安心してツアーに参加できるよう、大室古墳の魅力を最大限に引き出すために配慮した。		R6年度に新たに作成するEバイクのサイクリングコースに、大室古墳を組み込み、観光誘客を促進する。Eバイク利用者がガイドなしで手軽に大室古墳にアクセスできるよう、専用のサイクリングマップとスマートフォン向けのマップを整備する。	
						・アウトドアの開発 【戸隠地区】森の駅Daizahoushi、アンビーバ、アルカディア等とEバイクツアーの運動宿泊パッケージを造成し、宣伝媒体や旅行代理店の活用等でプロモーションを強化していく。 【飯綱高原】令和4年度のコンテンツ開発の結果を踏まえ、森の駅Daizahoushiの指定管理者が中心となり、継続コンテンツの実施及び新たなコンテンツ開発を進めていく。	○			観光振興課 NCVB 飯綱観光協会	各地区 1コンテンツ 以上開発	A	【戸隠地区】戸隠・飯綱高原への誘客の一環として、過去に行っていない溪流釣り体験を既存コンテンツに+αした特別ツアーの実施を行った。子供連れのファミリー層が参加し、戸隠の食文化・Eバイク体験・自然体験ができ、飯綱高原、戸隠とそれぞれに宿泊ができ1回のツアーで広域的な効果が得られた。アルカディア等、宿泊と運動したパッケージとしたが、実績が少なく、料金設定など課題もあった。 【飯綱高原】 ・森の駅Daizahoushiの指定管理者が中心となり、1,000mの標高を生かして、夏の水上テラスでForest of stars～星降る夜のlake side bar～等を開催し、新たな誘客コンテンツを開発した。また、冬期は昨年好評だった「こたつで冬キャンプ」、「雪板」を実施したほか、地元観光協会等と連携し「Winter Festa in 飯綱」を開催し、長さ45mのソリ滑り台を設置し、ファミリー層の誘客を図った。 ・充実したアクティビティを提供するため、フォレストアドベンチャーではキャノピーコースの増設をしたほか、小天狗の森の遊具の大規模な改修を行った。		【戸隠地区】前年度の課題を解決しながら、特にEバイクを活用した、飯綱高原との広域的なツアーを行う。 【飯綱高原】令和5年度のコンテンツ開発の結果を踏まえ、森の駅Daizahoushiの指定管理者が中心となり、継続コンテンツの実施及び新たなコンテンツ開発を進めていく。	
						【文化・観光DX事業（デジタル田園都市国家構想交付金申請事業）】 ・デジタルコンテンツでつなぐ「旅マエ・旅ナカ・旅アト」 本市の文化・観光分野の課題として、貴重な財産である文化財などを観光誘客や学びのコンテンツとして活用しきれていないことが挙げられる。本事業では、長野市の財産である文化財を起点とし、旅マエの「予感」、旅ナカの「体感」、旅アトの「満足感」を味わうことにより、川中島古戦場及びその周辺の松代地域への誘客・周遊を促進するデジタルコンテンツの構築をする。 (1) 川中島古戦場特設サイトを構築 (2) 屏風絵図3Dデジタルアニメーションの作成 (3) 屏風絵図3D合戦VRの構築 (4) 甲冑ARの構築 (5) デジタルスタンプラリー＋NFTコレクションの構築 (6) 戦国めりえコンテンツの開発	○			観光振興課 文化財課 新産業創造推進局		-	・長野市の所有する錦絵などの文化財を活用し、以下コンテンツを制作。川中島古戦場を拠点とし、松代善光寺等への周遊を図った。 (1) 川中島古戦場特設サイトを構築 (2) 屏風絵図3Dデジタルアニメーションの作成 (3) 屏風絵図3D合戦VRの構築 (4) 甲冑ARの構築 (5) デジタルスタンプラリー＋NFTコレクションの構築		・R5に整備したデジタルコンテンツの周知を行うとともに、第2回のデジタルスタンプラリーを開催し引き続き周遊促進を図る。	
				追加		・地域の資源（歴史、伝統、文化、自然）を生かしたコンテンツの開発	○			観光振興課 NCVB 各観光協会	-	A	【信州新町】・新たな観光資源の創出を目的に化石博物館を中心とした化石の魅力を外内に発信するイベントを開催。地区内外からファミリー層を中心に約4,100人が訪れた。（9月15日～18日） ・信州新町地区のワイン農家とさざり荘がタイアップし、ワイン摘みとり体験と宿泊をセットにした事業を実施（長野県事業） 【文化財課】門前町を散策し、指定・未指定に関わらず自分が後世に残したい文化財を見つけ、散策後に参加者同士で発表しあう「門前まち巡見」を実施した。（12/2開催、参加者35名） 【NCVB】真田十万石まつりに合わせ10月7日～9日に松代の真田邸において、ライトアップを開催		【信州新町】・新たな観光資源の創出を目的に化石博物館を中心とした化石の魅力を外内に発信するイベントを継続して開催するとともに新たにスカイランタンフェスタとナイトコンサートを実施しファミリー層以外の集客を図り、観光交流人口の増加を目指す。 ・信州新町地区のワイン農家とさざり荘がタイアップし、ワイン摘みとり体験と宿泊をセットにした事業を引き続き実施（長野県事業） ・文化財を活用した新たな観光コンテンツの検討 市内の貴重な文化財を適正に維持・保存するとともに、多くの方に来ていただける観光資源としての活用を検討し、体験、食事、宿泊等を取り入れた、新たな着地型コンテンツの造成について、調査・研究を行う。	

政策			施策	実施事業	追加	R5実施内容	対象地域			担当課	年次目標値	R5年度の達成状況		新規	R6実施内容	年次目標値
							東日本	松代	戸隠			評価	具体的な成果・残された課題等			
政策 1 地域資源を最大限活かした誘客	1-1地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進	(1)	地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援	①歴史、伝統、文化、自然を生かしたコンテンツ開発		・地域の資源（歴史、伝統、文化、自然）を生かしたコンテンツの開発			○	戸隠観光協会				新規	【戸隠地区】オーバーツーリズムによる観光客の分散、埋もれた観光資源の磨き上げを目的とし、観光庁の補助金を活用し、戸隠柵地区に伝わる鬼女紅葉伝説に関連したコンテンツ造成を行う。戸隠柵地区と鬼無里地区の鬼女紅葉伝説史跡は、中社～奥社に点在する史跡との関連が非常に深く2泊3日程度の宿坊を絡めたモニターツアーを実施し、長期滞在へ繋げる。	
				②「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」での地域人材とのつながりを活かしたコンテンツ開発		・宿坊と連携した滞在コンテンツ開発 善光寺のお坊さんによる39のおすすめとして動画制作し発信するとともに、その後もSNSで繋がり、リピーター獲得を図る。引き続き、善光寺、宿坊と連携したコンテンツを検討していく。	○			観光振興課 NCVB		A	・善光寺宿坊住職11人のメッセージ動画を制作し、HPにて配信した。 ・善光寺宿坊と連携した体験型の着地型良好商品を造成した。（上記に掲載済）		引き続き、善光寺、宿坊と連携したコンテンツを検討していく。	各地区1コンテンツ以上開発
						・地元農家と連携した収穫体験（杏・長いも）ツアー開発 令和4年度に企画したりんごの収穫体験を取入れたEバイクコースを、松代荘、ロイヤルホテルと連携して宿泊パッケージに造成し、宣伝媒体や旅行代理店の活用等でプロモーションを強化していく。			○	観光振興課 信州松代観光協会	各地区1コンテンツ以上開発	B	【松代地区】地元の農家と協力して、Eバイクのツアーコースにリンゴ狩り体験を組み込んだ新しいコースを設定した。このツアーコースは、ロイヤルホテル長野と連携した宿泊プランとして提供し、ツアーの魅力を広くアピールするために、公式ホームページやSNS広告などを活用して積極的に広報を行った。		【松代地区】R5年度に実施したEバイクサイクリングツアーの反省を踏まえ、ガイドなしで手軽に行ける農産物収穫体験のコースを検討する。また、りんご狩りなどがインバウンド旅行者に非常に人気があることから、受け入れ体制を整備などツアーの内容を見直し、旅行代理店の活用等でプロモーションの強化を図る。	
						【再掲】 ・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討			○	観光振興課 NCVB 各観光協会			上記に記載済		上記に記載済	
						・アイディアソンの開催 2年間実施した「まっしろそん」の効果等を総括し見直しを行うとともに、これまで「まっしろそん」で提案された事業の実施について検討を行う。			○	観光振興課 信州松代観光協会	1コンテンツ以上開発	B	信州松代観光協会の事業企画部会で、「まっしろそん」の効果や提案された事業について検討を行った。また、「まっしろそん」と同様に、近隣の高校生が松代を視察し、松代の観光について若い世代からの意見を聞く機会を2月に設けた。 提案された意見については、今後検討を行っていく。		これまで、「まっしろそん」は、若い世代の松代の観光に対する意見集約や、松代ファンの育成を目的に展開してきた。引き続き、事業企画部会では、「まっしろそん」の効果や提案された事業について詳細な検討を行うとともに、「まっしろそん」と同様に、若い世代から松代の観光についての意見を聞く機会を設け、若い世代の意見集約や松代ファンの増加に努める。	1コンテンツ以上開発
			③地産地消や地域産品、地域産材を活用したコンテンツ開発			・地産地消を促進するための宿泊施設との連携 【農業政策課】ホームページなどで「地産地消協力店」の情報や取組みを周知するとともに、引き続き、宿泊施設や飲食店などへ協力店認定を募り、地産地消を促進していく。 【飯綱高原】お客様のニーズを把握しながら、森の駅Daizahoushiの指定管理者と連携を図りながら、メニューの改善、及び新規メニューの開発を進めていく。			○	観光振興課 農業政策課 商工労働課	-	B	【農業政策課】地産地消の趣旨に賛同し、地元の農産物を積極的に取り扱う「長野市地産地消協力店」として宿泊施設を16施設認定しているが、そのうち6店舗に令和5年10月～12月の約3か月間で実施したスタンプラリーに参加いただいた。また、1月～2月には、協力店4宿泊施設を含めた市内8ホテルにて、長野市産りんごの提供イベントを開催し、地元食材を数多く使った料理を提供する宿泊施設との連携を深めた。 【飯綱高原】芋井地区産の農産物を中心にマルシェ（農産物直売所）で販売するほか、8月の電害を受けたリンゴを使ったクラフトビールや長野市産の川中島白桃を使用したフルーツエールのほか、信州産りんごのアップルジンジャーソースを発売した。 また、市場に出せない電害りんごを「えくぼりんごプロジェクト」として、地元事業所などを回り販売するなど、積極的に地産地消に貢献した。		【農業政策課】ホームページなどで「地産地消協力店」の情報や取組みを周知したり、イベント等で認定店と連携したりしながら、引き続き、宿泊施設や飲食店などへ協力店認定を募り、地産地消を促進していく。 【飯綱高原】森の駅Daizahoushiの指定管理者や地元関係者と連携し、飯綱高原ならではの新規メニューの開発及び提供開始を目指す。	-
						・土産品の開発（柴石、古銭、松代一本ねぎの活用） お土産が少ないと言われる松代地区において、これまで開発してきた商品の磨き上げ、販路拡大・プロモーション強化を行う。			○	企画課 商工労働課 信州松代観光協会	1商品以上開発	A	柴石を用いた新たな土産品（簪、ブックマーカー、サンキャッチャー ほか）を開発し、松代荘などで実際に販売することができた。また、柴石の新たな販路として、ミネラルショーへの出展を行い、過去最高の売上を記録した。		柴石を用いた土産品開発を継続するとともに、石への文字入れや桐箱の活用などを通して、商品の磨き上げを図る。	1商品以上開発
						・クラフトビールの販路拡大 商品ブランディングを市場イメージを意識した戦略のもとに、今後もブランド力や集客力のある店舗を中心に販路の拡大を進める。			○	観光振興課 信州松代観光協会	-	B	1月に放送されたBSテレビのグルメ系テレビドラマ「井屋酒屋新幹線2」で松代エールをPRL、商品のブランディングと市場の拡大に努めた。また、放送を見た人が、舞台地になった松代の居酒屋に訪れるなど効果があつた。また、松代エールを手軽に購入できるようにするため、ECサイトを観光協会のホームページにリンクし、売りに上げに貢献できた。		BSテレビ「井屋酒屋新幹線2」でのPR効果もあり、R5年度に行ったECサイトの販売が好調であることから、現在、1店舗のみで行っているECサイトを、松代町の他店でも行うよう働きかけを行う。また、銀座NAGANOでの販売ができるよう手続きを進め、松代町内飲食店等への普及や、町外のブランド力や集客力のある店舗への販路の拡大を進める。	-
						・クラフトビールに合う地元食材を活用したメニューの開発 一過性の取組みで終わらないよう継続的に取組むとともに、更なる協力店舗を集い、取組みを拡大していく。目標：新規2店舗（2商品）追加			○	観光振興課 信州松代観光協会	-	B	松代町内の飲食店に、新たに松代エールに合う地元食材を使った料理を開発して貰うよう依頼した。		引き続き、松代町内の飲食店に、新たに松代エールに合う地元食材を使った料理を開発・提供して貰うよう依頼する。	-
						・開発メニューの販売と飲食店・宿泊施設への誘客仕組みづくりの検討 クラフトビールに合う地元食材を活用したメニューを提供する飲食店や宿泊施設を増やし、クラフトビールと地元食材の認知度とブランディングを図る。 また、クラフトビールを活用したツアーの造成を検討する。			○	観光振興課 信州松代観光協会	-	B	松代エールと地元の食材の認知度向上とブランディングのため、飲食店や宿泊施設に、松代エールに合うメニューを提供するよう依頼した。また、旅行会社、宿泊施設や飲食店と松代エールを取入れた誘客の仕組みづくりについて検討を行った。		R5年度以降、松代町を訪れる外国人旅行者が増加していることから、外国人旅行者に人気の高いクラフトビール（松代エール）を対象に、日帰りツアーや宿泊する外国人旅行者向けの販売戦略を検討する。	-
						・真田信之松代入部400年記念を活用した土産品の開発 令和4年度で開発した商品の磨き上げと更なるPRを行い、真田家のブランド力を活かした発信を行う。 14代当主オリジナルコラボ御城印は期間限定での販売であったため、それに代わる新たな御城印の作成により、継続的に真田ファンやお城ファンの誘客促進と顧客満足度の向上に努める。			○	観光振興課 信州松代観光協会	-	A	真田信之松代入部400年記念で販売した御城印が大変好評であったことから、引き続き、真田14代当主筆のオリジナル御城印の販売に努めた。約1万枚（4月～1月）が販売され、この販売は、真田ファンやお城ファンの誘客促進と顧客満足度の向上に繋がった。		真田信之松代入部400年記念で販売した御城印が引き続き好評で販売量が多かったことから、デザインを一新し、真田14代当主筆のオリジナル御城印を新たに販売する。これに加えて、新たなスタイルの御城印を制作し、御城印の魅力を向上させ、継続的に真田ファンやお城ファンの誘客促進と顧客満足度の向上に努める。	-
						・「ながのラーメン」魅力発掘・発信事業 本市の食のコンテンツとして「そば」や「おやき」は広く知られているが、「ラーメン」につきましては、全国的に店舗数が多いものの、その魅力に気がついていない状況である。そのため、インバウンドなどにも大変人気のある「ラーメン」に焦点を当て、「長野市はラーメンの激戦区」といった都市ブランディング（意識の醸成）及び情報発信を行うことで、新たな観光資源として、誘客促進や地域経済の活性化を目指していくもの。 ①基盤調査：ラーメン文化の環境分析・コンセプト分析・プロモーション戦略の策定 ②プロモーション：上記調査に基づくプロモーションの実施			○	観光振興課	-	A	「ラーメン」を新たな長野市の観光資源として育むため、以下の項目について実施。 (1)市内店舗や市民を対象としたアンケート調査 (2)有識者からのヒアリング (3)他都市調査 (4)店主との意見交換会 (5)「ながのラーメン物語」を作成 (6)「旨種グランプリ」開催 (7)ランディングページ開設 (8)Xの公式アカウント開設、情報発信		R5年度に引き続き、情報を発信するとともに、効果的なプロモーションや店舗のニーズに即した支援等の実施により、「ながのラーメン」をきっかけとした国内観光客及びインバウンドの誘客促進を促す。	-
				④ワーケーションを促進するコンテンツの開発		・連泊プランの開発 宿坊や戸隠キャンプ場及びアソビバ平等と連携して、会議、研修等で団体宿泊コンテンツを開発し、ワーケーションスペースでのコンテンツ開発に努める。			○	観光振興課 NCVB 戸隠観光協会	1コンテンツ以上開発	C	【戸隠地区】ワーケーション機能を活用した、団体誘客は実施できなかった。		【戸隠地区】7月に会議室として、団体の申し込み予約有 ※50名程度	1コンテンツ以上開発
			⑤令和元年東日本台風災害被災地の復興、活性化のためのホープツーリズムの推進			・地域産品の販売協力 整備予定の公共施設で地元物産等の販売を行えるよう、公共施設の基本設計や実施設計を進める。			○	商工労働課 秘書課復興対策室	-	B	豊野地区は施設建設工事を着工し、地元物産等の販売を行うマルシェの開催など、オープン後の活用方法について検討している。長沼地区は施設整備スケジュールが遅れている。		豊野地区は8月オープン予定の公共施設での物販等を企画、実施する。長沼地区は、引き続き、整備予定の公共施設等で地元物産等の販売を行えるよう、活用方法の検討を進める。また、復興応援事業で地元物産等のPR、販売を行う。	-
						・視察受入への連携協力 令和元年東日本台風災害の影響が今なお残る長沼地域において、ホープツーリズムという長沼地域でしか体験できない新たな旅行商品により、教育旅行を中心とした観光誘客を図ると共に地域の復興・活性化を促進する。商品造成にあたっては、ながの観光コンベンションビューロー等の協力を得ながら進める。			○	観光振興課 秘書課復興対策室	-	B	決壊現場の視察希望が多いため、視察希望の団体を長沼地区住民自治協議会につないで視察を実施し、手数料を地区の復興財源として活用している。また、長沼地区住民自治協議会に視察資料を提供し、視察内容の充実を図った。		復興応援事業で被災地区の情報発信、視察受入れ等のPRを行う。長沼住民自治協議会と連携して、引き続き、視察の受入を行う。	-

政策		施策	実施事業	追加	R5実施内容	対象地域 東信越松代戸隠	担当課	年次目標値	R5年度の達成状況 具体的な成果・残された課題等		新規	R6実施内容	年次目標値
政策1 地域資源を最大限活かした誘客	1-1地域資源を活用した魅力的で多様なコンテンツの創出と流通促進	(1)	地域資源を活かしたコンテンツ開発の支援		・ながの獅子舞フェスティバルの開催 第7回ながの獅子舞フェスティバルを開催する。 開催日：令和5年5月3日（水） 開催場所：善光寺表参道（中央通り）、長野駅善光寺口駅前広場 計8会場 開催内容：市内各地の獅子舞の披露、工作体験コーナー	○	文化芸術課	-	A	第7回ながの獅子舞フェスティバルを開催した。 開催日：令和5年5月3日（水） 開催場所：善光寺表参道（中央通り）、長野駅善光寺口駅前広場 計8会場 開催実績：長野市内及び近隣市町村の神楽獅子舞保存団体58団体、約1,000人が参加。観客約6万人。工作体験コーナー、お囃子体験を実施した。		第8回ながの獅子舞フェスティバルを開催する。 開催日：令和6年5月3日（金） 開催場所：善光寺表参道（中央通り）、長野駅善光寺口駅前広場 計8会場 開催内容：市内各地の獅子舞の披露、工作体験コーナー、お囃子体験	-
					・表参道芸術音楽祭、街角アート&ミュージックを開催する。 市民による音楽やダンス、地域の伝統芸能等を披露する場として、市民参加型のステージイベントを実施、市民の文化芸術活動の発表機会の充実を図るとともに、まちの賑わいに繋げる。 表参道芸術音楽祭 4月、5月 5日間 TOIGO広場、セントラルスクウェア 街角アート&ミュージック 6～11月 8日間 城山公園、長野駅前広場など	○	文化芸術課	-	A	①表参道芸術音楽祭を開催した。 開催日：令和5年4月29日（土）、30日（日）、5月3日（水）、4日（木）、5日（金） 開催実績：出演者数53団体・937名、観客数13,351人 ②街角アート&ミュージックを開催した。 開催日：6月～11月 8日間 開催実績：出演者数93団体・909人、観客数7,945人		・表参道芸術音楽祭、街角アート&ミュージックを開催する。 市民による音楽やダンス、地域の伝統芸能等を披露する場として、市民参加型のステージイベントを実施、市民の文化芸術活動の発表機会の充実を図るとともに、まちの賑わいに繋げる。 表参道芸術音楽祭 4月、5月 5日間 TOIGO広場、セントラルスクウェア 街角アート&ミュージック 6～11月 8日間 城山公園、長野駅前広場など	-
					・アウエイツーリズムの推進 ・信州プレイブウォーリアーズとの連携による誘客と発信の継続 令和4年度に初めて行った取り組みを令和5年度も継続しながら、ランディングページの充実化を図り、情報発信の強化を行う。 また、試合の前後でOB選手と観光スポットを巡るツアーの造成について、検討を行う。	○	観光振興課 NCVB	1コンテンツ以上開発	B	・信州プレイブウォーリアーズとの連携による誘客と発信 土日に2日間続けて試合が開催されるBリーグの特徴を活かし、アウェイチームのブースターの宿泊及び周遊促進を図るため、名古屋で行われた試合会場にブース出展し、物販や観光PR、アンケート調査を実施した。 また、ホーム戦において長野市内に宿泊するブースターに対し、夕食クーポンの提供を行った。 ■日程：①令和6年3月2日（土）3日（日）@名古屋 ②令和6年3月23日（土）24日（日）@長野市 ③令和6年3月30日（土）31日（日）@長野市 NCVB・長野ACパルセイロとの連携による誘客と発信 トップチーム、レディースチームのホーム戦において、アウェイチームの来訪者に対して市内への周遊促進を図るため、試合の休憩時間等に、USTAJAM会場内のオーロラビジョンにおいて本市のプロモーション動画を放映した。		・信州プレイブウォーリアーズとの連携による誘客と発信 引き続き、信州プレイブウォーリアーズと連携を図り、アウェイブースターへの観光情報の発信や、R5年度のアンケート結果を活かした宿泊、観光周遊を促す施策を実施する。 NCVB・長野ACパルセイロとの連携による誘客と発信 アウェイチームの来訪者に対して市内への周遊促進を図るため、USTAJAM会場内のオーロラビジョンにおいて本市のプロモーション動画を放映する。	1コンテンツ以上開発
				⑦広域連携でのコンテンツ開発	・広域連携でのコンテンツ開発の推進 【信越高原連絡協議会】 Eバイクやアクティビティなどのコンテンツをつなぎ合わせたツアーを造成し、ファムトリップやモニターツアーの実施、一般販売に向けた検討を行う。	○	観光振興課 NCVB 各観光協会	-	C	訪日外国人誘客事業を企画したが、スケジュールの都合や効果が期待できないことから、実施を見送った。		Eバイクやアクティビティなどのコンテンツをつなぎ合わせたツアーを造成し、ファムトリップやモニターツアーの実施、一般販売に向けた検討を行う。	-
				⑧若者向け（Z世代）やファミリー向けのコンテンツの開発	・ながので楽しむ「Eバイク・アクティビティ旅」推進事業 SDGsの視点や密を避ける新たな観光スタイルとして注目されている「Eバイクで巡る旅」や「アクティビティ体験コンテンツ」など、ウィズコロナに対応したコンテンツの造成・発信を行うことで、若者やインバウンドを中心に長野市の魅力を伝え、誘客促進と地域経済の活性化を図る。 ①Eバイクの拠点整備、受入環境整備 ②体験コンテンツ商品化・発信・販売	○	観光振興課 NCVB 各観光協会		B	①長野市レンタサイクル事業として、長野駅を拠点とするシェアバイクのステーションを導入した。また、すでにEバイクを導入している観光協会にEバイクを増設し、拠点としての強化を図った。 ・シェアバイクステーション3箇所（メトロポリタン長野前、長野駅東口駐輪場、川中嶋古戦場史跡公園）、Eバイク25台設置 ・各拠点にEバイクを増設（鬼無里4台、戸隠10台、飯綱高原5台、松代5台） ②戸隠にて体験コンテンツツアーを2件（秋のEバイクツアー、冬のスノーシューツアー）開発・販売したが、その内1件については、募集が少なく催行できなかった。 その他、OTA（じゃらん）に夏、秋、冬に体験特集ページを作り、Eバイクを始めとする市内のアクティビティ体験コンテンツを掲載することで、本市の魅力を伝え、誘客促進を図った。 【鬼無里】鬼無里の湯にE-BIKE4台を配置し、レンタル拠点を増やした。		・長野市レンタサイクル事業を継続し、観光客の利便性を向上させるとともに、新たなステーションの設置を検討するなど、利用を促進し、収益で維持費を賄える仕組みを構築していく。 ・造成したコンテンツを磨き上げ、若者やファミリー層が参加するような仕掛けづくりをするとともに、情報発信をしっかりと行い、参加を促していく。 【鬼無里】鬼無里に湯に配置したE-BIKEのレンタルに合わせ、連携して宿泊プランの開発・販売を行う。	-
	1-2地域を守り、未来へつなぐ観光振興	(2)	観光コンテンツの提供体制の構築と広域連携	①ビューロー、各観光協会の連携によるコンテンツ販売体制強化	・各観光協会間の情報共有促進 WEBサイトやSNSでの情報発信を協会間で相互に行う。	○	NCVB 各観光協会	-	A	NCVB 各地区で行われるイベントやツアー、行事などについて、ながの観光コンベンションビューローのWEBサイト及びSNSにおいて、写真及び動画も含めて広く発信した。		NCVB 各地区で行われるイベントやツアー、行事など、ながの観光コンベンションビューローのWEBサイト及びSNSにおいて様々な機会を捉え、広く効果的に発信する。	-
				②観光人材の育成、プロガイドの養成	・ニーズに対応した観光人材の育成、プロガイドの養成 【戸隠地区】戸隠での山岳ガイドやスノーシューガイドの養成を行う 四季ごとのガイドツアーの計画やガイドが要望する内容に関する研修会をガイド委員会で決めるながら行う。また、引き続きインバウンド対応としての通訳ガイド及びEバイクのサイクルガイドの養成を行っていく。 五社巡りの需要に対応するため戸隠観光情報センターに常駐すガイドの配置について検討する。 あまとみトレイルなどアドベンチャーツーリズムに対応できるガイド体制を構築する。	○	観光振興課 NCVB 各観光協会	-	A	【戸隠地区】観光庁補助金：インバウンド向けコンテンツ造成事業の中で、通訳サポーターの育成を行った。また、サイクルガイド育成研修を実施した。課題として、サイクルガイドにおいては、安全確保の観点においても、専門知識が必要不可欠であり、長期的に育成していく必要がある。戸隠観光情報センターに駐在する職員がガイド資格を取得し、臨機応変なガイド体制の構築が行えた。		【戸隠地区】通訳ガイド育成効果が表れ、インバウンド団体ツアーも積極的に誘致できる体制が構築できた。さらに増えるインバウンド観光客への対応や、クレーム対応等の為、ガイドだけでなく情報センター職員や事務局職員の研修を実施する。	-
				③広域連携による効果的な情報発信、プロモーション	・北陸新幹線延伸の沿線各都市及び県内自治体と連携した情報発信、プロモーションの実施 【金沢・長野観光誘客協議会】 金沢市と連携し、インフルエンサーを活用したメディア発信を引き続き行う。 【信越高原連絡協議会】 信越高原エリアでは、Eバイクやアクティビティなどのコンテンツを、インバウンド向けに海外雑誌などのメディア上で発信する。 【北陸新幹線停車駅都市観光推進会議】 北陸新幹線延伸に伴い、沿線上の各都市と連携して、相互のイベント等への出展及び連携した情報発信を行う。	○	観光振興課 NCVB	-	A	【金沢・長野観光誘客協議会】 金沢市と連携しインフルエンサー活用事業を実施し、目標の3000回再生を大きく上回る8.9万回（2/20現在）の再生数を獲得した。 【北陸新幹線停車駅都市観光推進会議】 JR大阪駅を中心に、加盟している16市のPR映像の放映、ポスター等の設置を行った。 【NCVB】 福井県、長野県と共同で、東京の浜松町駅、東京駅において北陸新幹線延伸に伴うイベントを開催し、本市への誘客を図った。 ・福井県との共同事業として福井駅前で行われた福井そば博にブース出展し、戸隠そばのPRと本市への誘客を図った。 ・福井県内のテレビ局、ラジオ局において、北陸新幹線延伸に併せて、本市へ誘客を図る番組放映を行った。		【金沢・長野観光誘客協議会】 金沢市と連携し、インフルエンサーを活用したメディア発信を引き続き行う。 【北陸新幹線停車駅都市観光推進会議】 北陸新幹線延伸に伴い、沿線上の各都市と連携して、相互のイベント等への出展及び連携した情報発信を行う。 【NCVB】 引き続き、北陸新幹線延伸を契機として、北陸新幹線延伸の沿線各都市と連携した情報発信、プロモーションを実施する。	-
					【再掲】 ・文化財を活用した散策コンテンツの開発	○	観光振興課 文化財課 NCVB 各観光協会	1コンテンツ以上開発		上記に記載済		上記に記載済	
					【再掲】 ・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討	○	観光振興課 NCVB 各観光協会	1コンテンツ以上開発		上記に記載済		上記に記載済	1コンテンツ以上開発
				①まち並みや里山などの景観の保全及び観光コンテンツ化	・里山の暮らし、文化の発信 【鬼無里地区】引き続き、収穫体験やE-BIKEを活用したイベント実施やコンテンツ開発に取り組む。		観光振興課 鬼無里観光振興会	1コンテンツ以上開発	A	【鬼無里地区】地区内の団体と協力し、野沢菜収穫体験を組み込んだフットバスイベントを開催。		【鬼無里地区】継続して実施。 また、旅行会社と連携して実施回数や内容のアップデートを図る。	
					・大谷地湿原保全・再生事業 令和4年度に引き続き、長野高専への調査委託を継続し、持続可能な保全管理手法を検討する。 また、委託業務内容に定められている地元向け報告資料作成の一環として撮影している360°カメラの画像について、観光へ活用できるかどうかを検討する。		環境保全温暖化対策課	-	B	【環境】昨年度末に令和4年度報告書が完成し提出された。令和5年度報告書は3月末に提出される予定。なお、長野高専への調査委託は令和2年度から開始しているが、保全管理手法の検討には長期間のデータの蓄積が必要であることから、委託は令和6年度までを予定している。 11月に飯綱高原観光協会によるヨシ刈りが実施された。 調査により得られた各種データについて、ホームページ等による公開や活用方法について検討していく必要がある。 【施設担当】飯綱高原観光協会へ委託し、11月にヨシ刈りとヨシの搬出を行った。		【環境】・大谷地湿原保全・再生事業 令和5年度に引き続き、長野高専への調査委託を継続し、持続可能な保全管理手法を検討する。 令和2年度から令和6年度までの調査により得られたデータについて、報告会の開催を検討する。 【施設担当】例年、秋にヨシ刈りを実施してきたが、長野高専の調査等により、秋よりも春にヨシ刈りを実施した方がヨシにとってダメージになるのではないかという説があることから、ヨシ刈りの実施時期について関係者と検討した上でヨシ刈りを実施する。	-

政策		施策	実施事業	追加	R5実施内容	対象地域 東美濃 松代 戸隠 白川郷				担当課	年次目標値	評価	R5年度の達成状況 具体的な成果・残された課題等	新規	R6実施内容	年次目標値
政策 1 地域資源を最大限活かした誘客	1-2地域を守り、未来へつなぐ観光振興	(1)	観光を通じた歴史・文化、自然資源の保全と情報のシェア（価値の伝達と共有）	①まち並みや里山などの景観の保全及び観光コンテンツ化		・奥裾花自然植物園の保全と活用 【鬼無里地区】R5年度奥裾花溪谷の地層やブナの原生林がある奥裾場自然園、今は使われなくなっている峠道などを利用したガイド付きトレッキングを実施。リピーターも多いことから、引き続きイベントを実施していく。				鬼無里観光振興会	-	A	【鬼無里地区】奥裾花溪谷や奥裾場自然園を利用したガイド付きトレッキングを実施。 6回実施、延べ参加者50人		【鬼無里地区】継続して実施。 また、旅行会社と連携して実施回数や内容のアップデートを図る。	-
					追加	・「ながの百景」の活用 平成26年度に選定した「ながの百景」について、見直し及び追加募集をしている。				まちづくり課	-	A	四季を通じて応募できる期間とするため、令和5年10月～令和6年9月までの1年間を募集期間とし、募集を開始することが出来た。 ・令和6年1月までに応募のあった件数：16件		①追加する候補作品の決定 ・応募された作品の中から候補作品を景観審議会により選考し、市長へ答申のうえ決定 ②先に選定された百景の現状把握 ・選定から10年経過しているため、当初と変わらず適切に維持管理されているか現地調査の実施	-
				②歴史・文化、伝統産業（地場産業）の保全活動の観光コンテンツ化		・市内の伝統芸能保存団体の紹介 ・令和元年度に各団体の調査に基づき公開した情報を最新のものに更新した。（現在の掲載団体数：160） 公開情報に追加、修正を行いつつ、公開を継続する。				文化芸術課	-	A	令和元年度に各団体の調査に基づき公開した情報を最新のものに更新した。 現在の掲載団体数：160		公開情報に追加、修正を行いつつ、公開を継続する。	-
						・戸隠地区における茅の保全活動 引き続き、茅刈り体験を官民協同で実施するとともに、宿泊などと連携したコンテンツ開発につなげていく。				戸隠観光協会	1コンテンツ以上開発	B	茅葺き屋根の屋根の材料となる茅の刈り取りを、体験事業として戸隠地区外からも多くの参加者を募集して行った。 茅刈り体験イベント：延べ87人参加（11月、2回実施）		引き続き、茅刈り体験を官民協同で実施するとともに、宿泊などと連携したコンテンツ開発につなげていく。	1コンテンツ以上開発
						・重要伝統的建造物群保存地区の保全活動				戸隠観光協会				新規	重要伝統的建造物群保存地区の全国大会の開催が長野市で行われる。戸隠地域全体として、ガイド派遣・宿泊協力などを行う。	
				追加		・ガイド付きトレッキング・登山の実施				鬼無里観光振興会		A	【鬼無里地区】今は使われなくなっている峠道のガイド付きトレッキングや初級～中級向けのガイド付き登山を実施。 今年度の新たな取り組みとして、長野市保健所長を招き健康登山を実施。 6回実施、延べ参加者116人		【鬼無里】人気コンテンツであるため、継続して実施。	
	(2)	観光における温室効果ガスの排出抑制	①Eバイクを活用したサイクリングコースの開発		[再掲] ・Eバイクを活用した地域の人を巡るツアーコースバリエーションの検討					観光振興課 NOVB 各観光協会	1コンテンツ以上開発		上記に記載済		上記に記載済	1コンテンツ以上開発
					・自転車通行空間の整備 ・千曲川新道の自転車道・歩道の整備 ・道路標識、道路標示の適切な設置と運用 自転車通行空間の整備、千曲川新道の自転車道・歩道の整備、道路標識、道路標示の適切な設置と運用、自転車通行空間の利用方法、マナーの広報啓発を実施する。					道路課	-	A	矢羽根型路面標示による自転車通行空間として6.6kmを、千曲川新道の自転車道・歩道を1.0km整備した。 自転車通行可歩道の道路標識を設置して注意喚起を図った。		自転車通行空間の整備（矢羽根型路面標示 三輪幹線0.3km、吉田朝陽線1.2km）、千曲川新道の自転車道・歩道の整備（若穂地区 町川田工区0.7km）、道路標識、道路標示の適切な設置と運用、自転車通行空間の利用方法、マナーの広報啓発を実施する。	-
			③観光関連事業者へのゼロエミッション普及・啓発		・中央通り歩行者優先道路化事業 地域商店会と市による勉強会を開催し、中央通り及びその沿道における課題等を話し合い、課題解決へ向けた先進事例や方策等について情報共有・検討する。					都市計画課	-	B	中央通りを軸としたまちづくり勉強会をこれまで3回開催（第4回勉強会はR6年3月開催予定）し、中央通り及びその沿道における課題等の話し合いを行った。		引き続き勉強会を開催し、居心地の良い人中心の空間デザインの検討を行う。	-
					・事業者向けの講演会等の研修会実施 事業者の意識向上のため、ゼロエミッションやSDGsに関する研修会等を実施し、引き続き、観光関連事業者への温室効果ガス抑制に向けた取組みの普及・啓発に取り組んでいく。					NOVB 各観光協会	1回以上開催	B	SDGsに配慮したコンペション用トートバッグや環境にやさしいインクを使用した観光パンフレットの作成など、温室効果ガス抑制に向けた取組みの普及・啓発に取り組んだ。		引き続き、温室効果ガス抑制に向けた取組みの普及・啓発に取り組んでいく。	1回以上開催
					・戸隠でのグリーンスローモビリティの導入検討					戸隠観光協会	-			新規	【戸隠地区】戸隠の渋滞対策として、グリーンスローモビリティの検討と合わせ、観光庁補助金が活用できないか検討を行う。	-
1-3コミュニケーションを通じたファンづくり	(1)	ファンづくり、周遊促進に向けたコンシュルジュ機能の強化	①長期滞在／ワーケーションの全市的な集約とプロモーション		・対応施設の情報収集、集約 戸隠観光協会、各宿坊と連携し、宿泊に繋がる宣伝媒体や旅行代理店の活用等でプロモーションを強化していく。					観光振興課 NOVB 各観光協会	-	B	・長野県で推進している「信州リゾートテレワーク」事業に、戸隠観光協会、戸隠キャンプ場、鬼無里の湯、鬼土間などを掲載しPRしているが、全市的なプロモーションは実施されていない。 ・観光庁補助事業で、インバウンド誘客を、宿坊・戸隠古道を絡めツアー造成を実施し、長期滞在に向けた取り組みを行った。		戸隠の中社・宝光社地区は「重要転倒的建造物群保存地区」に定められており、宿坊は街並みと合わせ、魅力的な宿泊施設となっている。令和6年5月には全国大会の開催も予定されており、戸隠観光協会、各宿坊と連携し、宿泊に繋がるプロモーションを実施していく。 また、戸隠古道をPRし、歩くことで長期滞在を促すような、発信を行う。また、既存の5社巡りガイドツアー等も積極的にPRを実施する。	-
			②デジタルマップ等を活用したまちなかの環境配慮型の宿や店舗の宣伝		・デジタルツールを活用した効果的な情報発信 利用人数が少ない善光寺境内のマップを表参道マップと一本化させ、利便性を高める。他エリアにおいてもデジタルマップの活用を検討する。 ・観光協会SNSの発信体制の構築 地元ならではの情報やリアルタイムの情報など、お客様の目線と近い視点で、継続的に発信することで、ファンの獲得を目指す。					観光振興課 商工労働課 NOVB 各観光協会	-	A	多くの観光客が訪れる時期に善光寺や宿泊施設にポップを設置し、デジタルマップの利用促進を図った。デジタルマップの機能を使いヒートマップで可視化させることで、観光客の動きを分析した。また、多言語化での提供方法についての研究を行った。		デジタルマップの利用拡大を図るため、効果的なPRに努めると共に、利便性を高める手法について検討する。	-
	(2)	長野市の魅力をつたえるコミュニケーション	①Z世代に向けた、環境配慮型観光地としての長野市のプロモーション		【NOVB】令和4年度、SNS運用の見直しを行い、Z世代をメインターゲットとした情報発信を行った。Instagramでは、令和4年4月と比較し、リーチアカウントの20～30代の割合が増加した。継続的なアカウント運用を行っていく。					観光振興課 NOVB	-	B	更なるSNSの効果的な発信が可能となるよう、動画での発信方法についてSNS動画配信の専門家に依頼し、リーチ分析や素材選択、動画撮影手法などの効果的な配信方法の研究を進めた。		発信力の高い運用方法について更なる検討を進め、継続的なアカウント運用を行っていく。	-
			②SNSを通じたまちなか周遊の楽しみ方の発信		【NOVB】Instagram、Twitter、FacebookなどのSNSを通じて、イベント情報の発信に加え、天気や市街地の状況、まち歩きに役立つ情報など、継続的な情報発信を行っている。					観光振興課 NOVB 各観光協会	-	A	Instagram、X（旧Twitter）、Facebook、ThreadsなどのSNSを通じて、イベント情報の発信に加え、天気や市街地の状況、まち歩きに役立つ情報などを発信した。		継続的な情報発信を行っていく。	-
			③ながのファンづくりの強化		・「ながのファンクラブ」会員募集の強化 長野市役所の市民窓口課、各支所で「ながのファンくらぶ」会員募集のチラシを長野市に転入、転出した方に配布し、会員の増加を図る。					NOVB 観光振興課	-	A	イベント等でのPRだけではなく、長野市役所の市民窓口課、各支所で「ながのファンくらぶ」会員募集のチラシを長野市に転入、転出した方に配布し、会員の増加を図った。（R5.3月：8,605人→R6.2月：9,112人）		引き続き、会員の増加を図る。	-

政策			施策	実施事業	追加	R5実施内容	対象地域 東京都 松代市 戸隠市 白馬市	担当課	年次目標値	R5年度の達成状況 具体的な成果・残された課題等		新規	R6実施内容	年次目標値
政策2 魅力を活かしたインバウンドの推進	2-1長野市の特長的な資源を活かしたコンテンツ開発・環境整備	(1)	歴史・文化、アクティビティ等の地域資源を活用したコンテンツ開発	①歴史・文化を楽しむ体験型コンテンツの開発	追加	・地域資源を活用したコンテンツの販売に向けた取組 令和4年度までに磨き上げた、歴史・文化(善光寺大勧進の廻り護摩・座禅・写経、松代地区における甲冑や武道体験等)、アクティビティ(戸隠でのスノーシュー等)等の地域資源を活用したコンテンツについて、海外旅行会社や国内ランドオペレーターを招請し、FAMツアーや商談会を実施する。	市が中心となり、関係各所と連携しながら実施	観光振興課 NCVB	-	A	・地域資源を活用したコンテンツの販売に向けた取組 令和4年度までに磨き上げた、歴史・文化(善光寺大勧進の廻り護摩・座禅・写経、松代地区における甲冑や武道体験等)、アクティビティ(戸隠でのスノーシュー等)等の地域資源を活用したコンテンツについて、海外旅行会社を招請し、FAMツアーや商談会を実施した。 【NCVB】令和4年度に開発した旅行会社主体のツアー商品を新たにインバウンド用にブラッシュアップし、善光寺宿坊住職など地域人材とつながる体験コンテンツ(精進料理・ウォーキング・酒蔵巡り等)として造成した。(上記に記載済み)		・地域資源を活用したコンテンツの販売に向けた取組 歴史・文化(善光寺大勧進での文化体験、松代地区における伝統文化体験等)、アクティビティ(戸隠でのスノーシュー)等の地域資源を活用したコンテンツについて、海外旅行会社を招請し、FAMツアーや商談会を実施する。 【NCVB】地域資源を活用したコンテンツの販売に向けた取組みを継続する。	-
						・地域資源を活用したコンテンツの販売に向けた取組 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成	○	戸隠観光協会		A	【戸隠地区】観光庁補助金【インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業】において「神話伝説 巡礼の道 戸隠古道・戸隠神社五社巡りウォークインバウンド向けgreen&snowコンテンツ造成事業」を実施した。善光寺から戸隠まで続く戸隠古道の魅力を広く周知し歩くことで長期滞在を促す。また、そば打ち体験や、竹細工、スノーシューなど戸隠でしか体験できないアクティビティを組み込み、宿泊は宿坊で、戸隠の文化を体験できる特別プランの造成を行った。 ※一の鳥居へ古道の入口の案内看板2基、一の鳥居跡地へ写真付きの解説看板1基を設置 課題:2次交通、コンビニ機能の必要性検討		【戸隠地区】引き続き、インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成に取り組んでいく。	
		(2)	冬季のコンテンツ開発	①冬の魅力が伝わる地域資源を組み合わせたコンテンツ開発		・戸隠の冬のコンテンツの開発・販売 民間事業者が販売する戸隠の冬のコンテンツ開発を支援する。スキー以外の冬の楽しみ方について、海外旅行会社や国内ランドオペレーターへ発信し、商品造成に向けての働きかけを行う。		観光振興課 NCVB 戸隠観光協会	1コンテンツ以上開発	A	・戸隠の冬のコンテンツの開発・販売 民間事業者が販売する戸隠の冬のコンテンツ開発を支援する。スキー以外の冬の楽しみ方(スノーシュー等)について、海外旅行会社へ発信し、商品造成に向けての働きかけを行った。 中国人スキー客の誘客に向けて、令和5年9月に中国・北京において、旅行会社を対象とした観光セミナーを開催(市長が中国語でプレゼン)し、令和6年1月には、中国からの最初のスキーツアーが戸隠スキー場へ来訪した。 【戸隠地区】海外旅行会社へ、スノーシュー・そば打ち体験等を体験頂いた。		・戸隠の冬のコンテンツの開発・販売 民間事業者が販売する戸隠の冬のコンテンツ開発を支援する。スキー以外の冬の楽しみ方(スノーシュー等)について、海外旅行会社へ発信し、商品造成に向けての働きかけを行うとともに、海外メディア等にも発信し、個人旅行者誘客に向けた取組を行う。 【戸隠地区】インバウンドのそば打ち体験需要が増加しているため、引き続き、コンテンツの開発を実施していく。令和6年1月～2月6回実施。※中国の団体等	1コンテンツ以上開発
		(3)	広域連携による周遊コンテンツの開発	①全市的なデジタル周遊マップの多言語整備		・サイクリングマップの電子化 既存の掲載マップの多言語整備を検討するとともに、電子化を図る。 【NCVB】引き続き、NCVBで運営しているサイクルサイトの充実を図っていく。		観光振興課 NCVB	-	B	・デジタルコンテンツ(ガイド)の整備 街なかオーディオガイド(スマホを活用した多言語観光ガイド)、「食旅★NAGANO」(飲食店の多言語案内サイト、冊子)の利用拡大に努めた。 【NCVB】NCVBで運営しているサイクリングサイトの多言語化を実施した。		・デジタルコンテンツ(ガイド)の整備 街なかオーディオガイド(スマホを活用した多言語観光ガイド)、「食旅★NAGANO」(飲食店の多言語案内サイト、冊子)のさらなる利用促進と、POP設置場所の拡大を図る。 【NCVB】引き続き、サイクルサイトの充実を図っていく。	-
				②広域的なサイクリングコースの造成		・ハブ機能を活かした集客への取組 金沢市や山ノ内町、白馬村等の広域を周遊するコースのFAMトリップを行うなど、広域的なハブ機能を活かした集客への取組を実施する。				A	・ハブ機能を活かした集客への取組 飯山駅に直結するアクティビティセンターの機能を持つ飯山市や山ノ内町等の広域を周遊するコースのFAMトリップおよび商談会を行うなど、広域的なハブ機能を活かした集客への取組を実施した。		・ハブ機能を活かした集客への取組 飯山駅に直結するアクティビティセンターの機能を持つ飯山市や山ノ内町等の広域を周遊するコースのFAMトリップおよび商談会を行うなど、広域的なハブ機能を活かした集客への取組を実施する。	
		(4)	外国人観光客が快適に滞在できる受入環境整備	①音声ガイドアプリの活用		・オーディオガイド、「食旅★NAGANO」の運用、ブラッシュアップ 令和3年度に整備したオーディオガイド、令和4年度に整備した「食旅★NAGANO」について、機を捉えて周知や活用促進を図る。		観光振興課 NCVB	-	A	・街なかオーディオガイド、「食旅★NAGANO」の運用、ブラッシュアップ 令和3年度に整備したオーディオガイド(スマホを活用した多言語観光ガイド)、令和4年度に整備した「食旅★NAGANO」について、機を捉えて周知や活用促進を図った。		・街なかオーディオガイド、「食旅★NAGANO」の運用、ブラッシュアップ 令和3年度に整備したオーディオガイド(スマホを活用した多言語観光ガイド)、令和4年度に整備した「食旅★NAGANO」について、機を捉えて周知や活用促進を図るとともに、冬季の白馬村からの誘客を図るため、白馬村内における知名度向上、活用促進を図る。	-
政策2 魅力を活かしたインバウンドの推進	2-2ターゲットに届く効果的な情報発信	(1)	ターゲット市場への情報発信の強化	①海外に向けた地域の魅力の動画発信		・トップセールスによる映像制作・発信 令和4年度に制作した動画を活用し、市長による現地トップセールス等を実施する。市内コンテンツの情報や動画について、海外旅行会社や国内ランドオペレーターへ発信し、商品造成に向けての働きかけを行う。	市が中心となり、関係各所と連携しながら実施	観光振興課 NCVB	-	A	・トップセールスによる映像制作・発信 令和4年度に制作した市長のトップセールス動画を活用し、現地トップセールスを実施した。また、市内における各種コンベンションでも放映いただくとともに、海外YouTube広告等でも海外へ発信し、市の公式YouTubeチャンネルのトップセールス動画の総再生回数は100万回を超えた。		・トップセールスによる映像制作・発信 令和4年度に制作した市長のトップセールス動画を活用し、現地トップセールスを実施する。また、市内における各種コンベンションでも放映いただくとともに、海外YouTube広告等でも海外へ広く発信する。	-
				・インバウンド旅行プロダクト造成事業(海外でのイベント・旅行博への出展・参加)		重要ターゲットとしてしている「タイ」や「中国」での、イベント、旅行博においてトップセールスを実施し、セールスからプロダクト購入への誘導、旅行会社等へのセールスコールを通じて、インバウンド誘客を強化する。		観光振興課 NCVB	-	A	重要ターゲットとしてしている「タイ」「中国」において、市長のトップセールスを実施し、実際の商品造成に結びつけることができた。また、タイやシンガポールの旅行会社のFAMツアーを実施し、旅行商品の行程に長野市を組み入れるための取組ができた。		重要ターゲット国でのイベント、旅行博等の機会を捉えて、市長のトップセールスを実施するとともに、重要ターゲット国からのFAMツアー等の開催により、インバウンド誘客を強化する。	-
				・インバウンド旅行プロダクト造成事業(ターゲット向けのプロダクト)		ターゲット向けのプロダクト(旅行商品)造成およびオンラインサイト(OTA)への掲載		観光振興課	-	A	ターゲット国の一つである「中国」におけるトップセールスの結果、旅行商品がオンラインサイト(OTA)で販売され、実際のツアー催行に結びついた。今後も、さらなる誘客がされる見込み。		重要ターゲット国でのイベント、旅行博等の機会を捉えて、市長のトップセールスを実施するとともに、重要ターゲット国からのFAMツアー等を開催することで、旅行商品造成に向けた働きかけを行う。	-
				・インバウンド旅行プロダクト造成事業(インバウンド送客支援事業)		国内外の旅行会社が自社サイトにおいて、海外から「飲食や体験を組み込んだ宿泊ツアー」の予約獲得、およびOTAからの予約獲得の手数料にインセンティブ		観光振興課	-	B	旅行会社が、海外から「飲食や体験、交通を組み込んだ宿泊ツアー」の予約獲得をした際に補助金を交付する「インバウンド旅行送客支援事業」の仕組みを構築し、新規事業として開始した。		旅行会社が、海外から「飲食や体験、交通を組み込んだ宿泊ツアー」の予約獲得をした際に補助金を交付する、「インバウンド旅行送客支援事業」について、さらなる周知と利用拡大を図る。	-
	2-2ターゲットに届く効果的な情報発信	(2)	他市町村と連携した情報発信	①北陸新幹線沿線及び県内自治体と連携した情報発信		・金沢市、近隣市町村と連携した情報発信 オーストラリアをターゲットに、現地からの旅行会社招請(BtoB)、メディア・インフルエンサー招請(BtoC)によるFAMトリップを行う。 ・広域連携でのコンテンツ開発の推進 【信越高原連絡協議会】信越高原エリアでは、Eバイクやアクティビティなどのコンテンツを、インバウンド向けに海外雑誌などのメディア上で発信する。	市が中心となり、関係各所と連携しながら実施	観光振興課 NCVB	-	A	・金沢市、近隣市町村と連携した情報発信 オーストラリアをターゲットに、現地からの旅行会社招請(BtoB)、メディア招請(BtoC)によるFAMトリップを実施した。		・金沢市、近隣市町村と連携した情報発信 オーストラリアをターゲットに、現地からの旅行会社招請(BtoB)、メディア招請(BtoC)によるFAMトリップを実施するとともに、現地でのセールスコール(現地旅行会社への働きかけ)を実施する。	-
				②長野市のハブ機能を活かし、集客力のある観光資源を有する県内自治体と連携した情報発信		白馬村・松本市と「インバウンドを柱とする長期滞在型観光振興に関する連携協定」を締結し、戦略的に互いのリソースやコンテンツを共有市会うことで、新たな魅力や上質で洗練された滞在型空間を創出し、外国人旅行者のニーズを着実に捉えた長期滞在型観光を振興する。		観光振興課	-	B	白馬村・松本市と「インバウンドを柱とする長期滞在型観光振興に関する連携協定」に基づき、アルピコ特急バス長野ー白馬線を活用した広報宣伝を実施した。 【NCVB】白馬村、アルピコ交通と連携し、白馬村に滞在するインバウンドに対して、急行長野白馬線の増便、バス停の善光寺大門までの延伸、バス車内での広報(車内誌、車内モニター動画放映、ラッピングバス等)、ホテル・旅館や交通結節点での広報等を実施し、本市への誘客を図った。 ・善光寺、県立美術館及び食旅NAGANOと協力し、インバウンドに向けて歴史、文化、食といった新たな魅力やニーズを捉えた誘客策を展開した。	新規	白馬村・松本市と「インバウンドを柱とする長期滞在型観光振興に関する連携協定」に基づき、冬季の白馬村のオーバーツーリズムを解消するための下記取組を行う。なお、一部は、国庫補助が得られた場合(財源を確保できた場合)のみ実施する。 ・長野ー白馬線特急バスにおけるシンクタンク・学生を活用した動態調査・PR ・食による観光客の分散と満足度向上のためのサイト、ツール整備 ・既存の飲食店のPRのみではなく、灯明まつりと食をフックにした新たなコンテンツ開発・実施 ・開発したコンテンツへの観光客の誘導に伴うバス実証運行 ・受入側の体制整備としての説明会の開催 ・白馬村における長野市への観光客分散化PRの開催 【NCVB】引き続き近隣市町村との連携を進め、外国人旅行者のニーズを着実に捉えた長期滞在型観光を振興する。	-
				③広域連携による台湾、タイ等へのサイクルツーリズムの情報発信		・サイクルツーリズムでは、台湾、タイをターゲットに、広域10市町村で連携して、旅行商談会と旅行商品のOTA掲載を行う。		観光振興課 NCVB	-	A	・サイクルツーリズムでは、台湾、タイをターゲットに、広域10市町村で連携して、旅行商談会と旅行商品のOTA掲載を行った。 【信越高原連絡協議会】夏のグリーンシーズンの誘客意を目指し、1月に台湾でメジャーな旅行会社6社に対して、サイクリング商品のセールスコールを実施した。		・「サイクルツーリズム」については、「アドベンチャーツーリズム」にテーマを変えながら、台湾、タイをターゲットに、広域10市町村で連携して、旅行商談会と旅行商品のOTA掲載を行う。 【信越高原連絡協議会】台湾のサイクリング市場をターゲットとしたグリーンシーズンの誘客意を目指し、ツアー商品の見直し、内容修正等をを行いブラッシュアップを図る(ファムトリップ、ナディア、SNS掲載、セールスコール等の実施)。	-

政策		施策	実施事業	追加	R5実施内容	対象地域 東北 北陸 関東 中部 近畿 中国 四国 九州	担当課	年次目標値	R5年度の達成状況		新規	R6実施内容	年次目標値
									評価	具体的な成果・残された課題等			
政策3 オリンピックレガシー等を最大限活かしたコンベンションの誘致	3-1コンベンション誘致の強化	(1) コンベンション誘致やエクスカーションの強化	①オリンピック施設等を活用したコンベンション活動の強化		・助成事業の強化 ①新型コロナウイルスの収束に伴い、コンベンション開催件数の増加が見込まれるため、北陸新幹線敦賀延伸を見据え、関西圏も含めた積極的な誘致活動を行う。 ②大学等高等教育機関との連携を強化し、学会とコンベンションの誘致促進を図る。	ながの観光コンベンションビューローで実施	NCVB	-	A	・現時点での見込みでは、今年度は開催件数117件（前年比126%、令和元年度比94%）取扱人員77,000名（前年比117%、令和元年度比70%）となっている。5月に新型コロナが5類に移行された影響で人流が戻ってきたこともあり、回復基調にある。また、関西出身の職員を中心に関西圏の誘致活動を推進中である。 ・信州大学および長野県立大学と包括連携協定を締結した。協定に基づきそれぞれの学内にて情報発信をしていただき、案件の発掘を行った。		・令和6年3月の北陸新幹線敦賀延伸や令和7年の大阪・関西万博により、ビジネスチャンスが生じる可能性が高いと推察される関西圏からの案件誘致活動を行う。 ・これまでのデータベースを整理し、新たな誘致に向けてターゲットの選定を行う。	-
					・イベントを継続しながら、オリンピック施設を有効に活用し、スポーツを楽しめる環境づくりを推進するとともにスポーツで地域を活性化させる。	市が中心となり、関係各所と連携しながら実施	スポーツ課	-	A	令和5年度は長野マラソンをオリンピックスタジアム、パラスポーツ☆デーをホワイトリングで開催。また信州ブレイブウォリアーズやボアルース長野のホームアリーナとなっているホワイトリングには国の制度を活用し、高速大容量・低遅延通信・多数同時接続が特徴のローカル5Gを整備した。		イベントを継続しながら、オリンピック施設を有効に活用し、スポーツを楽しめる環境づくりを推進するとともにスポーツで地域を活性化させる。またホワイトリングに整備したローカル5Gをプロスポーツチームの試合や大きな大会、イベント等で活用し、スポーツで地域を活性化させる。	-
		(2) コンベンション参加者への情報発信	②スポーツ大会開催や合宿開催の支援	追加	本市におけるスポーツ大会の支援情報が主催者に共有されてきており、スポーツ大会と合宿が取扱件数、取扱人数共に堅調に戻りつつあるため、スポーツのキーパーソンの開拓を行いながら誘致を進めていく。		NCVB	-	A	・今年度のスポーツ大会は開催件数57件（前年比112%、令和元年度比91%）取扱人員40,300名（前年比111%、令和元年度比88%）と回復してきている		・キーパーソンを発掘することでコンベンション誘致促進を図る。 ・これまでのデータベースを整理し、新たな誘致に向けてターゲットの選定を行う。	
			③大学等と連携した学会誘致		・大学等との連携協定 コンベンションの誘致強化の一環として、信州大学と長野市が相互の発展に資するため、資源及び研究成果等の交流を促進し、文化、教育、学術等の分野で連携し、協力をするための包括連携協定の覚書を交わす予定。当法人が信州大学と締結する協定により、相互の連携を深めることで学術会議などコンベンションの開催を促すとともに、同様の連携を県内の他の大学にも広げていく。	ながの観光コンベンションビューローで実施	NCVB	-	A	・信州大学および長野県立大学との包括連携協定締結を踏まえ、長野市内にある清泉女学院大学および長野保健医療大学とも同様の包括連携協定を結ぶ方向ですり合わせを行っている。現時点では両大学ともに概ね同意との回答を得ており、具体的な締結内容の詰めを行っている。		・大学等高等教育機関との協定締結をフックに連携強化をすることで誘致促進を図る。 清泉女学院大学および長野保健医療大学との包括連携協定を締結する。	-
	3-2地域資源を活かしたフィルムコミッションの強化	(1) フィルムコミッションの強化とロケツーリズムの推進	①コンベンション等参加者への観光情報の発信と周遊促進策の実施		・参加者への情報発信の強化 ①高等教育機関との連携を図り、地域資源を活用したエクスカーションを更に提案していく。 ②「おいでなしてながの」「ながのグルメガイド」は令和5年度も内容の刷新を行いお客様が活用しやすくしていく。		NCVB	-	A	・国際会議において善光寺大勧進のユニークベニューを提案、採用されて実施した結果、大変好評価を得ることができた。今後も積極的にお勧めしていく。 ・水野美術館と新たなユニークベニューのコンテンツ造成についてすり合わせを行った。 ・「おいでなしてながの」は「ようこそながの」にタイトルをリニューアルして刷新した。		・参加者への情報発信の強化とコンテンツの充実 「ようこそながの」「ながのグルメガイド」は引き続き内容を精査して、より見やすくなるようにブラッシュアップする。 ユニークベニュー等のコンテンツの充実を図る。	-
			①ロケツーリズムの推進		・ロケ地等の情報発信強化 ①令和4年度撮影作品 映画「ゴールデンカムイ」や米国ドラマ「TOKYO VICE season2」が上映(放映)されることを受け、広域展開された両作品撮影地のプロモーションへ参画することによりフィルムツーリズムの機会創出へと発展させられる可能性は高い。（県/JFCとの協働） ②業務内容の整理を行い、「作品プロモーション≡作品素材活用によるロケ地宣伝」について計画的な展開を図る。 ③ロケーションデータベースの見直しを行い映像制作者への訴求力を高める。	ながの観光コンベンションビューローで実施	NCVB	-	B	・ロケ地等の情報発信強化 ジャパンフィルムコミッションでの宣材広報用に松代地区の観光ショート動画を制作し、映画やテレビ関係者等に広くPRした。市内の複数の観光スポットにおいて、ドローンによる動画撮影を行い、番組制作等の紹介に活用した。ロケ地マップを配布し、市内での周遊促進を図った。		引き続きロケ地等の情報発信を強化する。	-
			②フィルムコミッションの強化と観光への活用	追加	・メディア等を活用した観光情報発信の強化 R5年はNHK大河ドラマが「どうする家康」であり、徳川家と真田家とは縁が非常に多いことから大河ドラマを活用したPRを実施する。	ながの観光コンベンションビューローで実施	NCVB	-	A	・NHK大河ドラマ「どうする家康」の公式ガイドブックに、真田信之をテーマとして真田十萬石まつりや真田宝物館などを取り上げ、観光誘客に向けたPRを実施		引き続きフィルムコミッションの強化と観光への活用方策について検討を進める。	-
政策4 快適で安全、スマートな観光を実現する基盤の構築	4-1 DXの推進による快適な滞在環境の構築	(1) 快適に滞在できる環境整備			・導入に向けた情報共有 各種キャッシュレス環境の整備のための国の補助制度や動向の情報を収集するとともに庁内や各観光協会と共有する。	市が庁内関係各課と共有	観光振興課 企画課 商工労働課	-	B	国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業「飲食・小売業等業務改善支援事業補助金」において、キャッシュレス決済を導入する事業に対し、対象経費の一部を補助し、キャッシュレス環境の普及を図る。		引き続き実施。	-
					・地域連携ICカードの導入 平成24年から運用を開始したバス共通ICカードKURURUの更新に伴い、JR東日本のSuicaをベースに開発された地域連携ICカードを令和7年春に導入するためのシステム開発		交通政策課	-	A	地域連携ICカードのベンダーを選定し、要件定義やプログラム開発を行った。新しいカードの名称及びデザインを決定し、公表した。		バスIC車載器等の製造・設置、ネットワークの構築を行い、令和7年3月のサービス開始に向けた準備を行う	-
			②Msaの導入検討、公共交通機関の利便性向上		・Massの導入、情報発信 「旅する北信濃」をサービス提供エリアの拡大に加え、利便性の構築に努める。	○	観光振興課 NCVB	-	A	東日本旅客鉄道㈱と連携して、観光の利便性向上と広域周遊促進を目的として、北信濃エリアで観光型MaaS「旅する北信濃」に参加している。移動に便利な交通電子チケットやグルメ、温泉、レンタサイクル等、お得で便利な観光電子チケットを導入することで、市内及び広域での周遊促進を図っている。		引き続き東日本旅客鉄道㈱と連携して、「旅する北信濃」をサービス提供エリアの拡大に加え、利便性の構築に努める。	-
	4-2災害に強い観光都市基盤の構築	(2) 快適な滞在を提供するためのマーケティングシステムの構築	①顧客データベースシステムの構築及びビッグデータ活用		・旅行博、イベントブース及び観光案内所等でのデジタルアンケートを行い、サンプル数の拡大を図る。 ・観光事業者等へのデータ交流の方法を検討する。 ・デジタルマップ利用者、ながのファンクラブ等の顧客データ分析 引き続き、顧客データ取得に努め、取得したデータを活用し、趣味趣向にあった情報発信を検討・実施する。	市とNCVBで連携しながら実施	観光振興課 NCVB	-	B	・旅行博やイベントブースにおいてデジタルアンケートを行い、サンプル数の拡大を図った。（R5.3月：7,632→R6.3月：8,652）		引き続きデジタルアンケートを実施し、サンプル数の拡大を図るとともに、効果的な分析手法の検討を進める。	-
			①観光危機管理マニュアルの情報共有、危機管理体制の強化		・情報連絡体制の確認、点検 観光危機管理マニュアルに沿って、帰宅困難者の一定期間滞在する場所について、宿泊施設や公共施設と協力体制を構築させる。必要に応じて、マニュアルの改訂を行う。	○ ○ ○ ○	観光振興課 危機管理防災課	-	B	・2月に予定していた図上訓練が能登半島地震対応のため中止となったが、1月23日、架線停電のため、北陸新幹線ほか鉄道が止まり、実際に長野駅で一時的帰宅困難者が発生した。マニュアルに沿って対応し、大きな混乱はなかったが、観光関連事業者との連携に不十分な部分があった。 【危機管理防災課】災害等による駅の帰宅困難者滞留対策として、指定緊急避難場所や災害時における対策支援に関する協定に基づく協力機関による帰宅困難者の受入れについて、関係機関と情報共有及び連絡調整を図った。		・災害時など緊急時に備えた危機管理体制を構築するため、観光危機管理マニュアルを宿泊施設や公共施設と共有し、より実効性のあるものとするため、マニュアルの運用について見直しを行う。 【危機管理防災課】観光危機管理マニュアルに沿って、帰宅困難者の一定期間滞在する場所について、宿泊施設や公共施設と協力体制を構築し、迅速な対応に繋げる。また、必要に応じてマニュアルの改訂を行う。	-
		(2) 安全な観光地づくり	①感染症対策の支援、情報共有		・チラシ配布、情報発信への協力 観光施設や宿泊施設に対しても、感染症が流行した際の対応についても想定し、速やかに実行できるよう働きかける。	○	観光振興課 危機管理防災課	-	A	・県からの情報や庁内の関係部局と連携し、感染状況や予防対策等を各観光協会へ情報提供している。		・市内での感染症による感染拡大を防止するため、庁内関係部局と連携して観光関連施設や宿泊施設などに感染症対策への支援や協力等を働きかける。	-
			②観光地、観光施設等のバリアフリー化等の推進		・観光地でのバリアフリー・ユニバーサル化の推進 【戸隠観光協会】 引き続き戸隠観光情報センター内の「戸隠ユニバーサルデスク」においてユニバーサルツーリズムに関する情報提供や介助用品など旅行支援を行っている。	○	戸隠観光協会	-	A	【戸隠地区】ジャパントラベルアワード観光関連特別賞を受賞した。エントリー数163 受賞者10 障害者へ安心して戸隠にお越し頂ける様引き続き体制の構築や、広報を行う。 【文化財課】 ・市有文化財における防災施設の整備（旧横田家住宅） ・善光寺防災施設整備事業の支援 ・善光寺本堂等スロープ設置の支援		【戸隠地区】レンタル品の1部有料化や、レンタル規定の見直しを行い、更なる戸隠ユニバーサルデスクの周知を行う。 【文化財課】 ・市有文化財における防災施設の整備（旧横田家住宅） ・善光寺防災施設整備事業の支援 ・善光寺本堂等スロープ設置の支援	-